

【看護師募集案内】



Tottori Prefectural Central Hospital

鳥取県立中央病院



輝け！未来の私

理念

質の高い医療を提供し、患者の生命と健康を守ります。

基本方針

- 私たちは、急性期の高度医療と救急医療を提供します
- 私たちは、研修・研鑽励み、患者に信頼される医療を提供します
- 私たちは、他の医療機関との連携を強化し、地域医療の向上に努めます
- 私たちは、地域に期待される医療従事者を育成します
- 私たちは、健全な経営基盤の確立を目指します
- 私たちは、コミュニケーションを図り、相互理解に努めます
- 私たちは、チーム医療を実践します



屋上ヘリポートと救急外来を直結するエレベーターがあり、迅速な患者受け入れをしています。
災害拠点病院として多くのDMAT隊員を養成し、急性期の災害医療活動に貢献しています。

Message

看護部門の理念として「良質で思いやりのある患者中心の看護」を掲げています。
私たち看護職員は、当院の役割である高度急性期を担う専門職として、良質な臨床実践能力を高め、患者さんの思いに寄り添った看護を提供しています。

現在、社会及び医療の現場は大きく変化し続けています。変化に対応するために、知識や技術を磨き、地域のみなさんの期待に沿えるよう努力をしています。

みなさんも周りの人や物事に真摯に向き合い、チーム力の発揮ができる看護師をめざしていきましょう。先輩看護師たちの力を借りながら、一緒に学ぶ楽しさをぜひ経験してください。



鳥取県立中央病院
看護局長・認定看護管理者
西山 あゆみ

【看護師配置】 急性期一般入院料 1

【看護方式】 固定チームナーシング

一人ひとりの患者さんに入院から退院まで受け持ち看護師を決定し、看護に責任を持ち実践します
また、チーム内の看護師は協力して継続した看護を提供します

【採用条件】 身 分／正規職員（新卒者は看護師登録の翌々月から）

給 与／初任給月額 3 年制：225,800円 4 年制：231,800円

※職歴に応じた給料の加算あり

手 当／時間外勤務手当、休日勤務手当、特殊勤務手当、夜間看護手当、夜勤手当、防疫等業務手当、
呼出手当、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等

賞 与／年 2 回

勤務体制／週38時間45分勤務

※ 2 交替制勤務（一部 3 交代の混合）

※ 3～4 人夜勤体制

休日・休暇／4 週 8 休、有給休暇20日（4 月 1 日既卒採用者は15日）

※特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇等

福利厚生／育児支援、女性職員支援が充実しています

※院内保育所は水・金のみ24時間夜間保育があります

※その他：医療費の給付、貯金事業、貸付事業、祝金・弔慰金支給等の制度があります

看護局理念

～良質で思いやりのある患者中心の看護を提供します～

「室の高い医療を提供し、患者の生命と健康を守ります」という病院理念のもと、看護局は、医療チームの一員としてその責務を果たすとともに、患者さんの人間性を尊重し、良質で思いやりのある看護の提供を目指しています。

教育理念

1. 私たちは、看護倫理に基づいて、安心・安全・満足される看護を提供する看護職員を育成します
2. 私たちは、急性期の高度医療・救急医療を支えるチームの一員として多職種と協働するとともに、地域医療の向上に務める看護職員を育成します
3. 私たちは、専門職としての役割を自覚し、自己研鑽に努め、主体的に行動する看護職員を育成します
4. 私たちは、働く環境を整え、地域に期待される看護職員を育成します
5. 私たちは、健全な病院経営に参画する看護職員を育成します

新人看護職員の教育方針

1. 安全な看護を提供できる実践能力を身に着けた新人看護職員を育成する
 - 集合教育と OJT を連動させた指導
 - 看護基準・看護手順を用いた技術指導
 - 見学→共に→一人でのステップを踏んだ指導
 - 慣れて出来るのではなく考えて出来るための指導
2. 看護師を続けていきたい、看護が楽しいと思える新人看護師を育成する
3. 看護実践や研修から自己の課題を見つけ自己研鑽できる新人看護職員を育成する

福利厚生

生き生きと働き続けられる職場づくり

結婚・出産・育児などのライフイベントを経ながら長く働き続けられるように、育児支援・介護支援など福利厚生も充実しています。制度の周知と活用にも努めています。

ワークライフバランスの面からも、時代の変化に合わせたさまざまな支援を行なっています。

部分休業・育児短時間勤務制度

- 小学校就学前の子どもを養育する場合、1日の勤務時間の一部（勤務時間の始め又は終わり）を勤務しないことができます。（1日につき2時間以内）
- 小学校就学前の子どもを養育する場合、1日の勤務時間を半分程度に短縮できます

院内保育所「キッズルームスマイル」

病院内に設けられた保育所が利用できます。

- **保育年齢** 生後3ヶ月～小学校就学前までの乳幼児
- **保育日** 月曜日～土曜日
- **保育時間** 7時30分～19時（延長保育あり）
- **夜間保育** 水曜日・金曜日
- **定員** 75名（病児・病後児保育は6名）
- **病児保育** 小学校3年生まで

フリーアドレスナース制度

育児休暇後の早期復職の看護師を支援する制度です。2か月間、夜勤をしないで2～3部署の応援業務を行う中で日勤業務に慣れ、仕事と育児の両立を目指します

【診療科】全39科

- 内科 ● 感染症・総合内科 ● 消化器内科 ● 呼吸器内科 ● 血液内科 ● 輸血科 ● 腫瘍内科 ● 心臓内科 ● 脳神経内科
- 糖尿病・内分泌・代謝内科 ● 緩和ケア内科 ● 外科 ● 消化器外科 ● 小児外科 ● 精神科 ● 放射線科 ● 整形外科
- 形成外科 ● 心臓血管外科 ● 呼吸器・乳腺・内分泌外科 ● 脳神経外科 ● 産婦人科 ● 小児科 ● 泌尿器科
- 耳鼻いんこう科 ● 眼科 ● 皮膚科 ● 麻酔科 ● 救急科 ● 病理診断科 ● 臨床検査科 ● 歯科 ● 口腔外科
- リハビリテーション科 ● 腎臓内科 ● リウマチ・膠原病内科 ● 救急集中治療科 ● 救急外傷外科
- 小児救急集中治療科

【病床数】全518床

結核病床：10床
一般病床：504床
感染症病床：4床

【施設指定等】

救命救急センター	第2種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター	日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院	臨床研修指定病院
基幹災害拠点病院	卒後臨床研修評価機構認定病院
地域医療支援医療	ユニセフ赤ちゃんにやさしい病院
エイズ拠点病院	など

新人教育

～チームの一員として 看護師として～
「わかばサポートチーム」
で新人看護師を支えていきます



1年目のスケジュール

4月

- オリエンテーション
(病院の概要、勤務規程、就業規則、看護局の概要、感染防止、医療安全、接遇など)
- 看護技術 (採血、吸引、酸素吸入、静脈内注射)
- 感染対策 “スタンダードプリコーション”
(手洗い・手袋・マスク・ビニールエプロンの着脱方法、医療廃棄物の分別)

5月

- 輸液ポンプ、シリンジポンプの操作
- フィジカルアセスメント
(フィジカルアセスメント基礎知識について)
- リフレクション研修
- 院外研修

6月

- 心電図モニター・12誘導心電図
- 災害研修 ● 救急看護
- 浣腸・膀胱内留置カテーテル・経管栄養

7月

- 放射線療法と看護 ● 看護記録研修
- 輸血療法と看護

8月

- 麻薬と看護倫理
- シミュレーション研修①

9月

- がん薬物療法と看護 ● ピアサポート研修2
- 看護倫理 ● 看取りの看護 ● 入退院支援

10月

- 感染対策研修 ● リフレッシュ研修②
- 医療安全研修

11月

- ローテーション研修

12月

- ローテーション研修

1月

- リフレッシュ研修③

2月

- シミュレーション研修②

3月

- 人工呼吸器装着中の患者の看護
- リフレクション研修②



4月から部署配置が決まります



(看護技術研修)
一つずつ丁寧に
学べます



(院外研修) 同期と語り合いリフレッシュします



(救急看護研修)



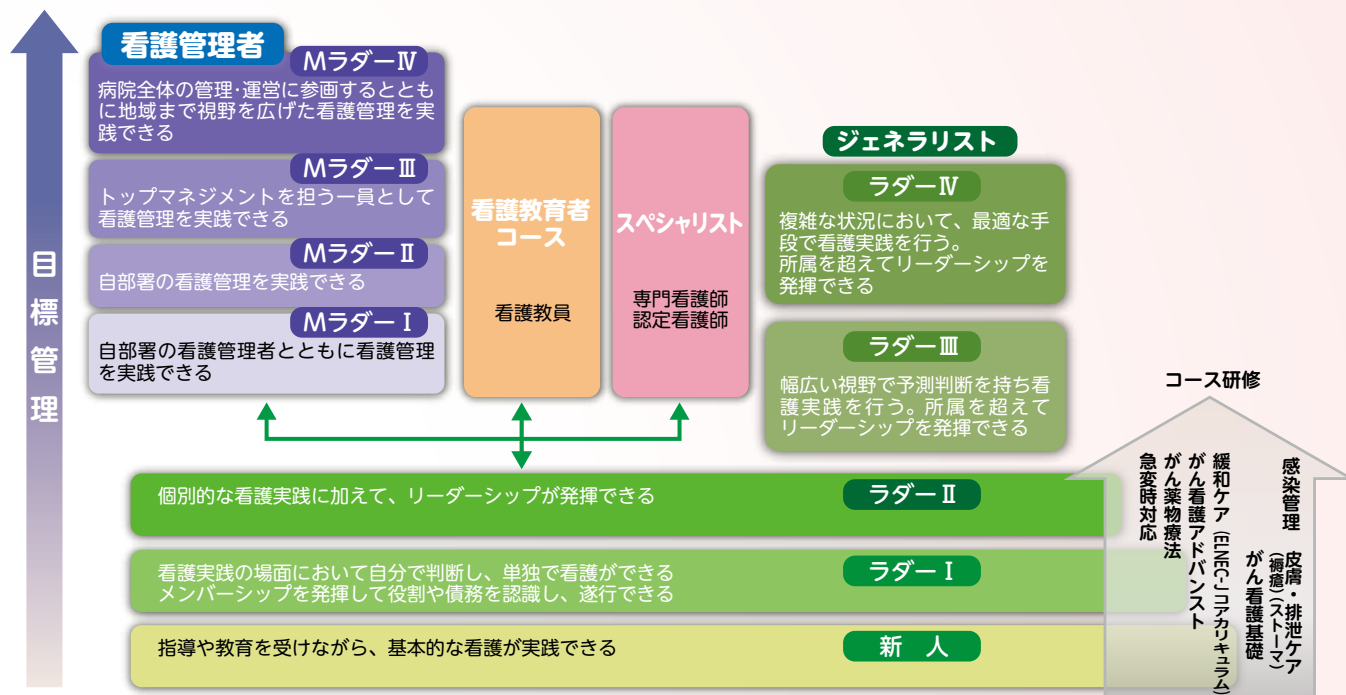
キャリアアップ プログラム

継続的な教育で能力を開花し、 着実なキャリアアップを目指します

クリニカルラダーシステムの申請者は毎年増加しています。各レベルに応じた看護実践能力を高め、看護の質の向上を目指しています。

JNAラダーを標準指標として、育成したい人材像も含めたレベルⅠ～Ⅴのクリニカルラダーを取り入れています。自己課題を明確にし、自律性を持って成長していくことができるように計画しています。

鳥取県立中央病院 看護局 教育計画概念図



クリニカルラダーシステム

看護師個々のキャリアアップを支援するとともに、認定看護師など専門性を発揮するスペシャリストの育成にも努めています。各ラダーに応じたサポートを行うことで看護実践能力を育成し、看護の質の向上を目指します。また、多様な勤務形態で働く看護師も学ぶことができるよう、eラーニングを用いた学習の機会を提供しています。

マネジメントラダーシステム

看護のニーズに柔軟に対応できる自律した看護管理者を育成するため、マネジメントラダーを推進し看護管理者を計画的に育成しています。

めざせ！看護のスペシャリスト

医療の高度化・専門分化が進む中、より質の高い看護を提供するため、専門看護師・認定看護師の育成と活動支援を行っています。

認定看護管理者 (3名)

認定看護師 (17名)

- 救急看護認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 感染管理認定看護師
- がん化学療法看護認定看護師
- 不妊症看護認定看護師
- がん薬物療法看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- 新生児集中ケア認定看護師
- 乳がん看護認定看護師
- 手術看護認定看護師
- クリティカルケア認定看護師

専門看護師 (2名)

- がん看護専門看護師
- 母性看護専門看護師

特定行為研修修了者 (10名)

キャリアアップ支援

認定看護師養成
各分野の研修

看護教員養成
看護教員養成講習会

臨地実習指導者養成
実習指導者養成講習会

その他
各種短期研修

先輩のメッセージ

高度急性期病院で、看護師としてのあなたのチカラを成長させましょう

入職された皆さんの不安、緊張が少しでも和らぐよう、早期より精神的サポートも行いながらわかばサポートチームを中心に部署全体で指導に関わっています。実地指導者や教育委員と協力して、職場の特性や個々のペースに合わせながら、集合研修で学んだことが看護実践につながるように支援しています。新人看護職員のみなさんが看護実践に必要な知識と技術を習得し、看護は楽しいと思えるように支援します。



新人教育担当看護師長
萩原

血液内科では、化学療法や輸血・移植の看護などを学ぶことができます。働き始めた頃は、処置や用語など分からないことばかりでしたが、気軽に相談できる先輩方や同期の友達、すぐに確認できるマニュアルがあったりと充実した環境のもとでは楽しく働いています。

11南 (大塚)



血液内科

緩和ケア病棟では、病気によって起こる苦痛症状を緩和し患者さんがその人らしく最期を迎えられるよう、日々の看護をしています。患者さんが人生の最終段階をどのように過ごしたいか、家族・医療関係者も一緒に考え、より良い時間を過ごしていただけるよう支援しています。

10南 (柳原)



緩和ケア内科

呼吸器内科病棟では、胸腔穿刺や化学療法などの処置や検査などを経験することができます。また、急性期から終末期までの幅広い看護を実践することができます。自分の成長に繋げることができます。先輩や周りのスタッフの方々もとても優しく、温かい雰囲気の中で日々成長できるように頑張っています。

10北 (藤木)



呼吸器内科
リウマチ
膠原病内科

家族がこの県立中央病院で闘病していたことがきっかけで就職を決めました。

同じようにここで治療を受けておられる方のそばに居られるような看護師となれるよう頑張っています。まだまだ力不足なことも多いですが、優しく指導してくださる先輩方に恵まれ日々支えて頂いています。

9南 (勝原)



感染症
総合内科

整形外科病棟で患者さんのADLの回復を目指し働いています。看護師の仕事は夜勤もあり大変なことも多いですが、やりがいを感じる事が出来ます。入職後の期待や不安など様々な思いがあると思いますが、優しい先輩や同期と協力して頑張っています。一緒に楽しく働きましょう。

9北 (足立)



整形外科
耳鼻咽喉科
眼科

私は患者さんに一番近い立場で療養を支援できる看護師に憧れて、この職業を選択しました。入職したばかりの頃は、日々の業務を覚えこなすことで精一杯でしたが、現在は先輩のサポートの元、看護技術を身に付け看護介入を行っています。

大変なことも多い毎日ですが、患者さんやご家族の笑顔が見られるととても嬉しくやりがいを感じます。

8南 (小塚)



消化器内科・糖尿病内科
腎臓内科・皮膚科
精神科・放射線科

三次救急の病院であり、看護師としてのスキルアップを目指したいと思い当院に入職しました。周りのスタッフや患者さんの優しさに支えられ、楽しくやりがいを持って働くことができています。まだまだ未熟な部分はありますが、学びが多く看護師としての技術や知識が身についてきていると実感しています。

8北 (中西)



消化外科
泌尿器科・口腔外科
形成外科

高度急性期医療の病院として重症度や緊急度の高い患者さんに対して看護を行いたいと思い就職を決めました。脳神経の病棟では、意識障害や麻痺などの後遺症を抱える患者さんが多いため、日々の観察や日常生活援助が大切です。

忙しい毎日ですが、優しい先輩方の姿を見て学ぶことも多く楽しく働くことができています。

6南 (加藤)



脳神経内科
脳神経外科

主に循環器や呼吸器疾患の治療、検査の前後の看護が経験できます。スタッフ主催の勉強会も多く開催され、幅広い知識を得ることができます。入退院や転棟などで毎日忙しいですが、頼りになる先輩・同期・後輩と協力しながら楽しく働いています。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

6北 (門脇)



心臓内科
心臓血管外科
呼吸器乳腺・内分泌外科

入職して2年が経ちました。5階南病棟の先輩方から、いつも丁寧で的確な指導を受け、患者さんへの関わり方で学ぶことがたくさんあります。

すべての女性を対象に患者さんと家族を取り巻く環境に目を向け、幅広い視点を持ち、ひとり一人に寄り添った看護ができる助産師を目指しています。

5南 (澤)



産婦人科

5階北病棟は小児と成人の混合病棟です。子どもたちの年齢は幅広く成長発達も様々でありすべての診療科が対象となります。そのため疾患だけではなく付き添いのご家族も含め、年齢や成長発達段階に合わせた看護を提供しています。優しい先輩方が多く、働きやすい職場です。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

5北 (吉田)



小児科
小児外科

赤ちゃんの退院に向けてスタッフで話し合い、ご家族にミルクの飲ませ方や自宅でのケア方法を指導しています。赤ちゃんの安全を守りつつ、優しい看護を提供できるよう心がけています。回復してご家族に抱っこされ退院していく赤ちゃんの姿を見ると嬉しく、やりがいを感じます。

NICU (中垣)



救命救急センターには様々な疾患や緊急度・重症度の高い患者さんが入室します。最初は医療機器の多さや処置の介助など不安に思うこともありましたが、先輩看護師の指導やサポートもあり、看護技術やアセスメント力など多くのことを学べます。成長できる環境でぜひ一緒に働きましょう。

高次救急集中
治療センター
(中嶋)



手術センターでは安全に手術が行えるようにスタッフ同士で連携しながら器械出し・外回り看護を行っています。手術センターでしか経験できないことも多くやりがいをもって働いています。手術看護に興味のある方は是非一緒に働きましょう。

手術センター
(北浦)



患者さんひとりひとりに寄り添い、安心で安全な内視鏡看護をするためにチーム一丸となって取り組んでいます。処置後も自宅で不安なく過ごせるように丁寧な指導を心がけています。特殊な環境ですが日々進歩する内視鏡治療のため、専門性を高めることでやりがいを感じる職場です。

外来 (河村)





部活動の紹介



フットサル部

「CFC」は、結成15年目のチームです。週1回程度、多職種で集まって県庁職員と合同で練習や試合をしています。昨年度は、労働者福祉協議会が主催するスポーツ祭典で、東部地区大会優勝、県大会は3位の成績を収めました。経験の有無を問わず部員を募集しています。交流の場にもなるので、僕らと一緒に汗を流しましょう。



手話クラブ

「手話クラブ」では手話通訳士の資格を持つ当院の手話通訳者の指導のもと、多職種の職員が集まり手話を学んでいます。メンバーは言語としての手話を学び、きこえない人への理解を深め、全国手話検定試験へのチャレンジや外部団体の行事に参加するなど、活発に笑顔いっぱいで活動しています！



DRC (ランニングクラブ)

DRCです！創設4年目と歴史はまだ浅いですが、これまでに鳥取マラソンをはじめ島根県や兵庫県のリレーマラソン大会にも参加しました。看護師・医師・放射線技師が在籍し、多職種が交流し楽しく活動しています。共に走り気持ちよく汗を流すことで、臨床現場での連携にも繋がっています！！



バレー部

職種、年齢層と幅広いメンバーで構成されているチームです。自治労大会、病院対抗、中国5県庁大会など試合に参加、時には県外へ、他県のチームと交流しています。試合の後は楽しいことも企画！一緒にバレーボールしましょう。



野球部

「RED BRICKS」は、各大会で優勝や準優勝の成績を収め、ここ数年は勢いに乗っている野球兼ソフトボールチームです。球場を借りて練習を行い、他病院や一般企業、草野球チームと試合を行っています。多職種で集まって活動しているので、仕事では職種や部署の垣根を越えて、円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。経験の有無を問わず部員を募集しています。



バスケ同好会

県中バスケ同好会は、職種関係なく、男女関係なく、経験の有無問わず、ゆるーくバスケをして汗をかきたい方ならどなたでも参加していただけます。週1回のペースで近くの体育館を借りてやっています！



Red Brick Band

バンドとコーラス部が合体し、さらにブラス隊等も加わった大所帯のバンドです。鳥取駅前で開催されるイベントコンサートや、当院の新年会での演奏などを主に行っています。多職種で構成しており、練習時にメンバーが揃わないこともしばしばですが、仕事を忘れてリズムを刻みながら、みんなで楽しく活動を行っています。

〒680-0901 鳥取市江津730番地

TEL / 0857-26-2271 (代表)

FAX / 0857-29-3227

E-mail / chuoubyouin@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/chuoubyouin/>

